

授業科目名	解剖生理学Ⅰ		科目コード	2403005	
開講クラス	動物健康管理学科	コース	動物園・水族館・ドッグインストラクターコース	学 年	1 年
担当教員	野崎香織（非常勤講師）				
	実務経験教員（ ☒ 有 ・ 無 ）				
	実務経験内容				
	愛玩動物看護師 動物病院にて約 10 年間小動物の診療の補助、看護に従事 現場での経験をもとに、事例を出しながら授業を行う				
開講時期	前期・後期・ ☒ 通年・特別講義・その他		授業コマ数	31 時間	
	☒ 必 須 ・ 選 択 ・ 選択必須		単 位 数	1 単位	
使 用 テキスト1	書 名	ナビ犬 POL ちゃんとやさしく学ぶ 犬と猫のからだのしくみ			
	著 者	POL & 浅野妃美・浅野隆司			
	出版社	株式会社 EDUWARD Press			
使 用 テキスト2	書 名				
	著 者				
	出版社				
参考図書					
授業形態	☒ 講義 ・ 演習 ・ 実習				
＜授業の目的・目標＞ 動物の体の構造や機能に関する知識の習得を目指す。 動物病院にて獣医師より患者についての説明を受けた際に理解できるまでが到達目標である。					
＜授業の概要・授業方針＞ 筋・骨格系から消化器、循環器系など、それぞれの組織の構造と名称、主たる機能について学習する。解剖学的な用語は難しいものが多いが、獣医師からの説明に多くの解剖用語が出てきても理解できるようにする。また、2年次に学習する科目なども解剖生理学の知識が必要となってくるため、1年次に基礎的な知識を身につけさせる。					
＜成績基準・評価基準＞ 前期と後期に優・良・可・不可の成績基準を設定する。評価の基準は筆記試験によるものとし、本科目の出席率が80%以上なければ本試験が受験できない。本試験における点数が 80～100点を優、70～79点を良、60～69点を可とし、60点未満は追試とする。また、出席率が80%未満の場合も追試となり、追試においては60～100点を可とする。追試にて60点未満の場合は不可となる。					
＜使用問題集・注意事項＞					
＜関連科目他＞					

授業科目名		解剖生理学Ⅰ
回	授 業 内 容	備 考
1	オリエンテーション	
2	体をつくる臓器・パーツとは	
3	骨の名称	
4	骨格（全身）の名称及び説明と骨の働き	
5	骨の成長について	
6	骨に関連する疾患について	
7	脳神経の役割や働き	
8	中枢神経と末梢神経の役割について	
9	中枢神経と末梢神経の役割について	
10	消化器全体のつながり	
11	消化器群の機能について	
12	消化器群の機能について	
13	胃と腸の働き	
14	膵臓について	
15	前期まとめ	
16	前期復習	
17	肝臓の構造と疾患	
18	肝臓の構造と疾患	
19	循環器の働きについて	
20	心臓の解剖・血液の流れ・毛細血管と弁の役割	
21	心臓の解剖・血液の流れ・毛細血管と弁の役割	
22	胎児循環について	
23	犬フィラリア症について	
24	犬フィラリア症について	
25	泌尿器の働き・尿の生成について	
26	泌尿器の働き・尿の生成について	
27	猫と腎臓 尿石症について	
28	耳について 働きと構造	
29	眼について 働きと映像が見える仕組み	
30	眼の病気について 白内障・緑内障他	
31	後期まとめ	